

地下水位観測について

1 地下水位観測位置

・地下水位観測は、自記水位計により、以下の箇所継続的に観測を実施。

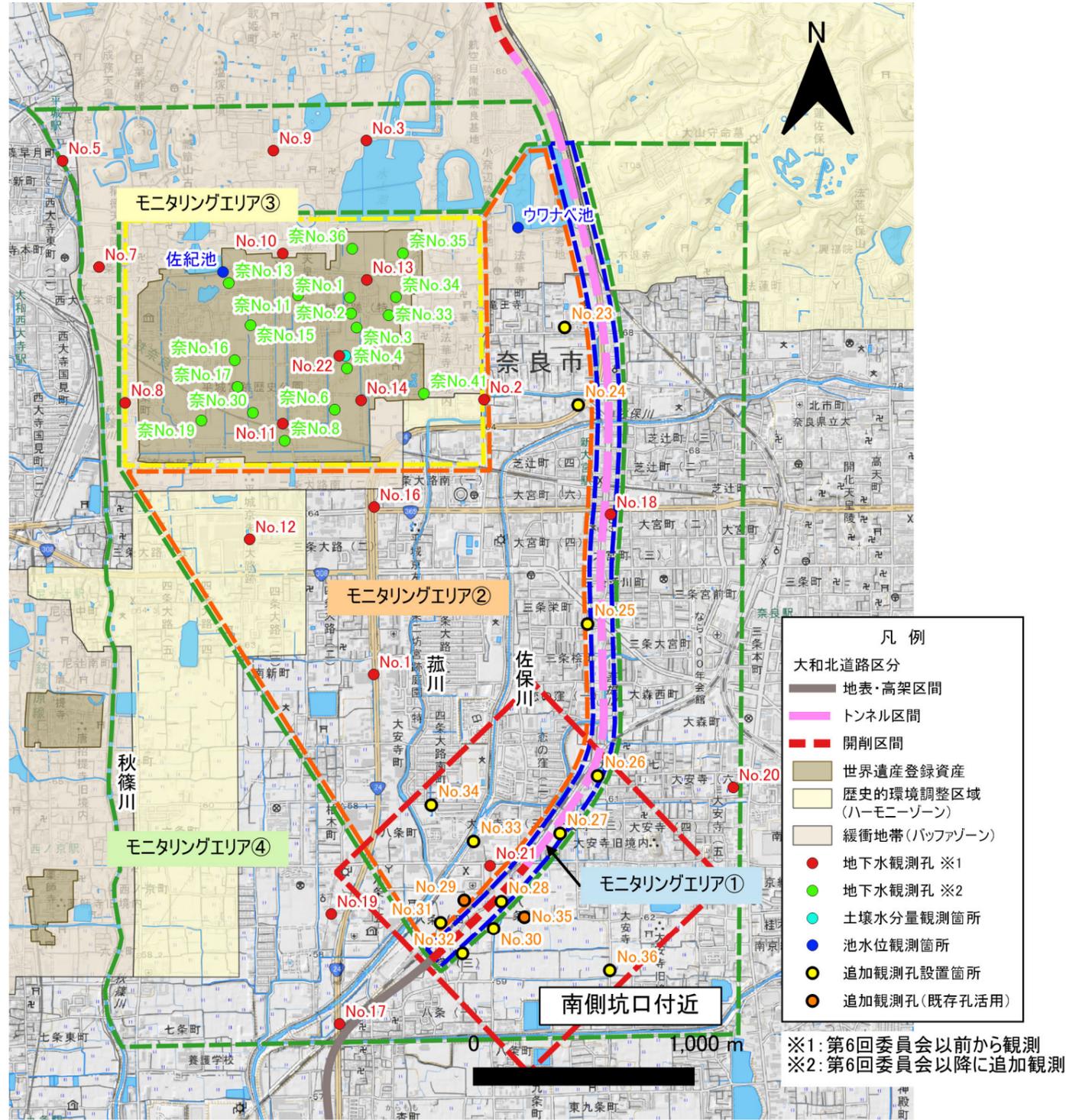


図-1 地下水位観測位置

2 地下水位変動観測結果(第1帯水層)[平成12年1月～令和6年3月]

・地下水位の経年傾向は、概ね横ばいもしくは上昇傾向であり、一定レベルで安定的な水位を示している。

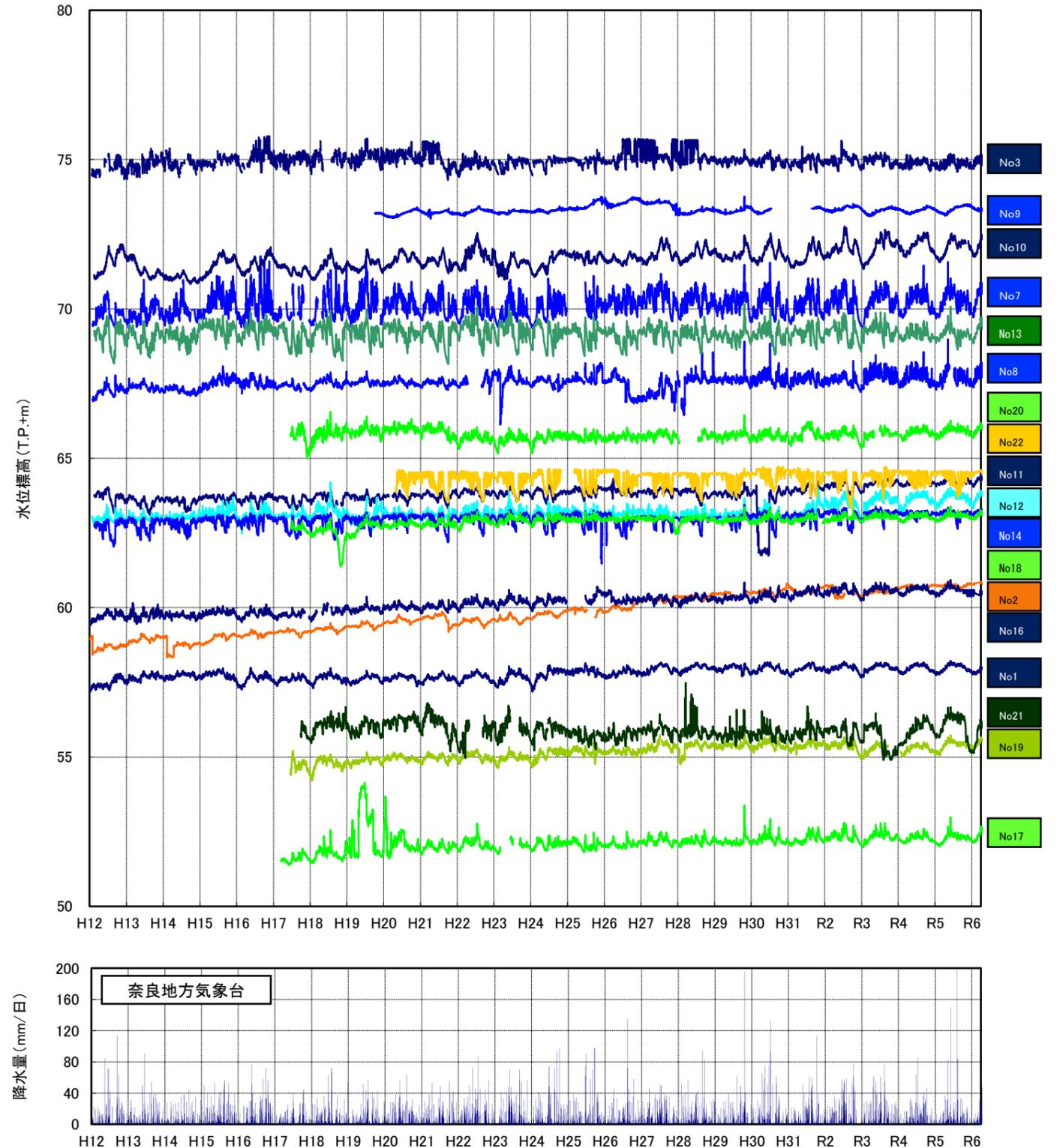


図-2 地下水位変動観測結果(第1帯水層)

3 地下水位変動観測結果(第2帯水層)[平成12年1月～令和6年3月]

・地下水位の経年傾向は、多くの観測孔で上昇傾向を示している。

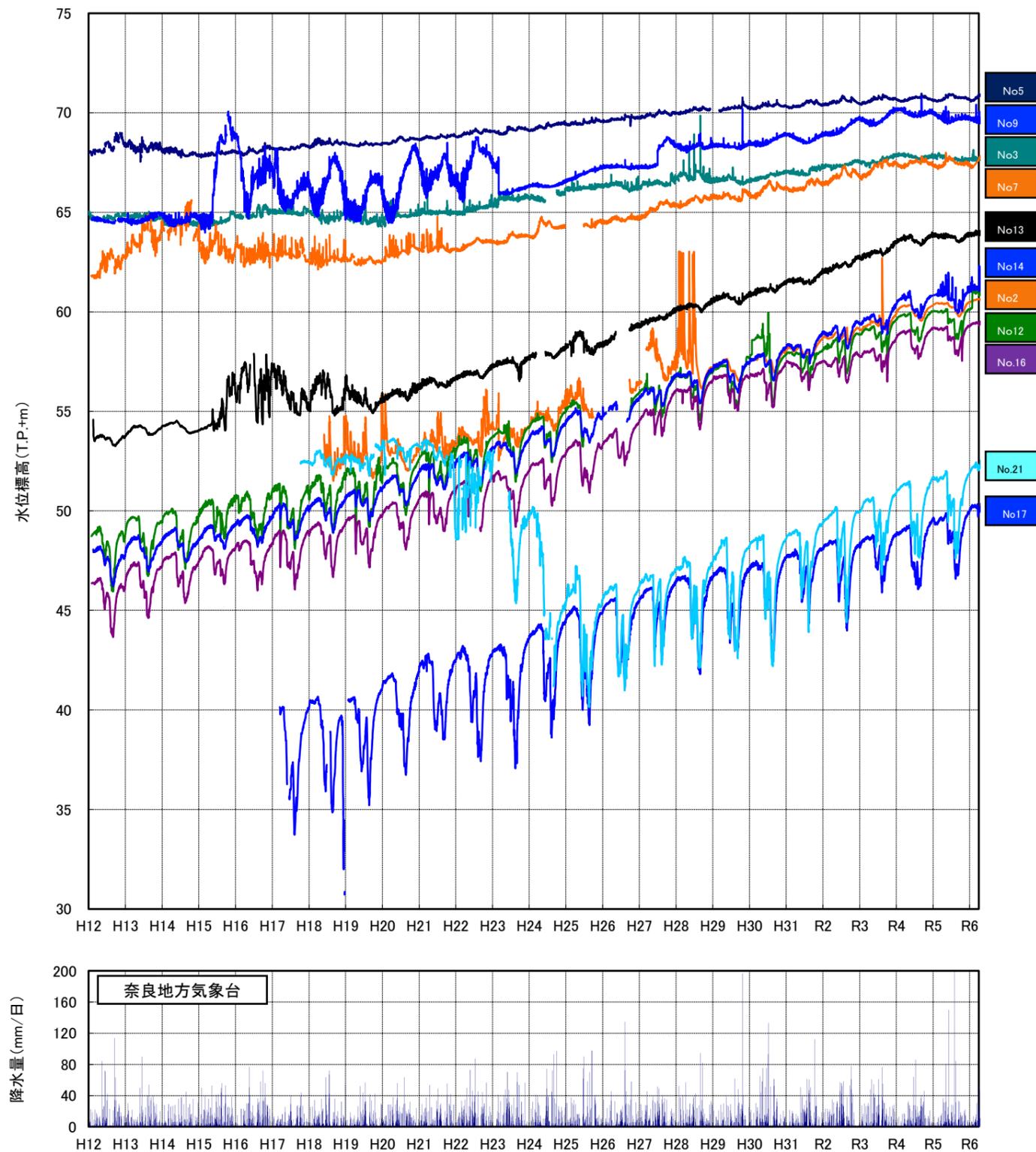


図-3 地下水位変動観測結果 (第2帯水層)

4 地下水位変動観測結果(第3帯水層)[平成12年1月～令和6年3月]

・地下水位の経年傾向は、多くの観測孔で上昇傾向を示している。

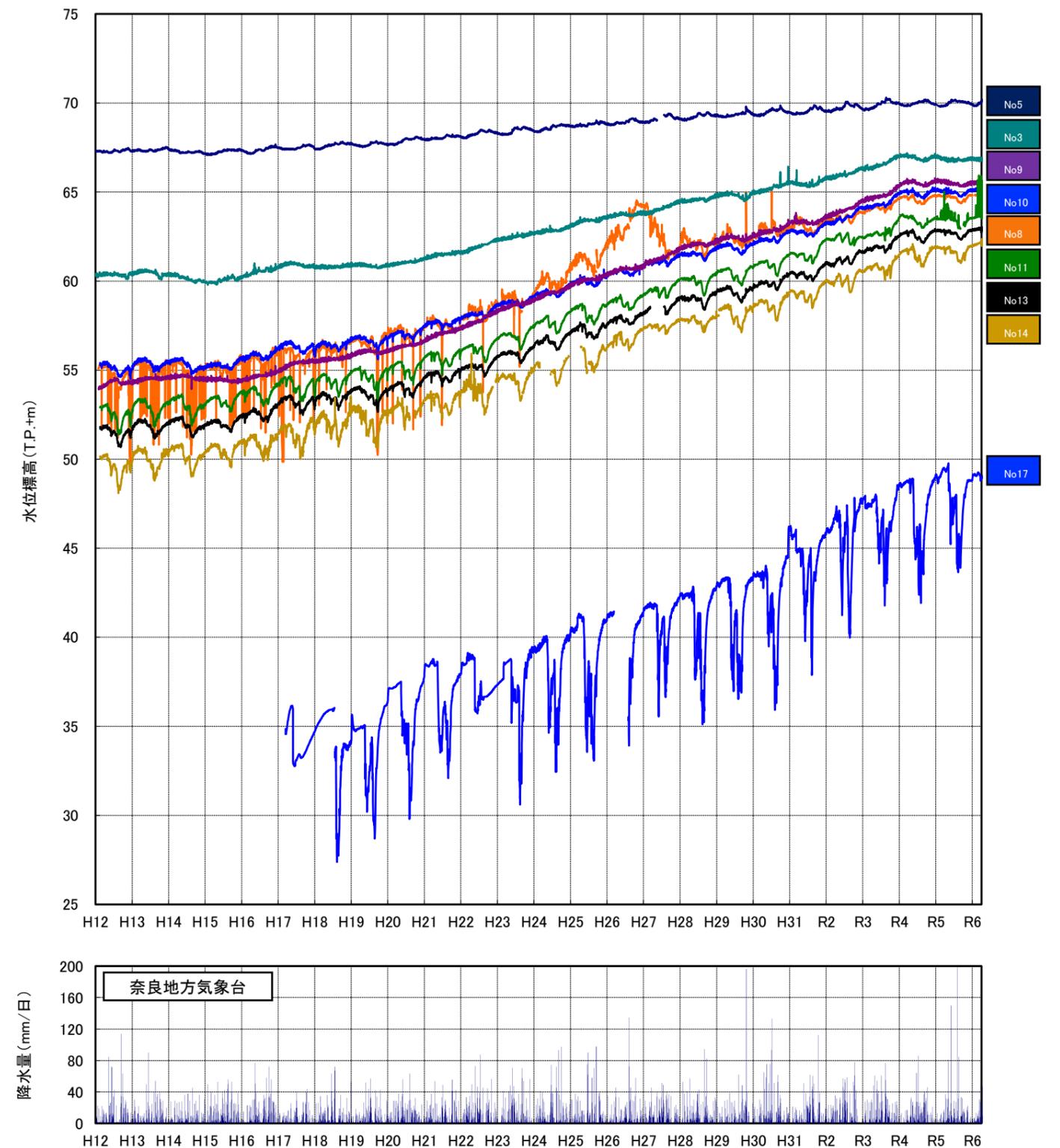


図-4 地下水位変動観測結果 (第3帯水層)

5 地下水位観測結果(第1帯水層) 平城宮跡内 [平成24年3月～令和6年3月]

- ・奈良文化財研究所の観測孔について、平成24年3月から定期観測を開始している。
- ・地下水位の経年傾向は概ね横ばい傾向であり、一定レベルで安定的な水位を示している。
- ・短期的な降雨に応答した水位変動が確認され、低水・渇水状況における年間の最低水位(図中: ↑)は、概ね6月、8月、9月に記録されている。

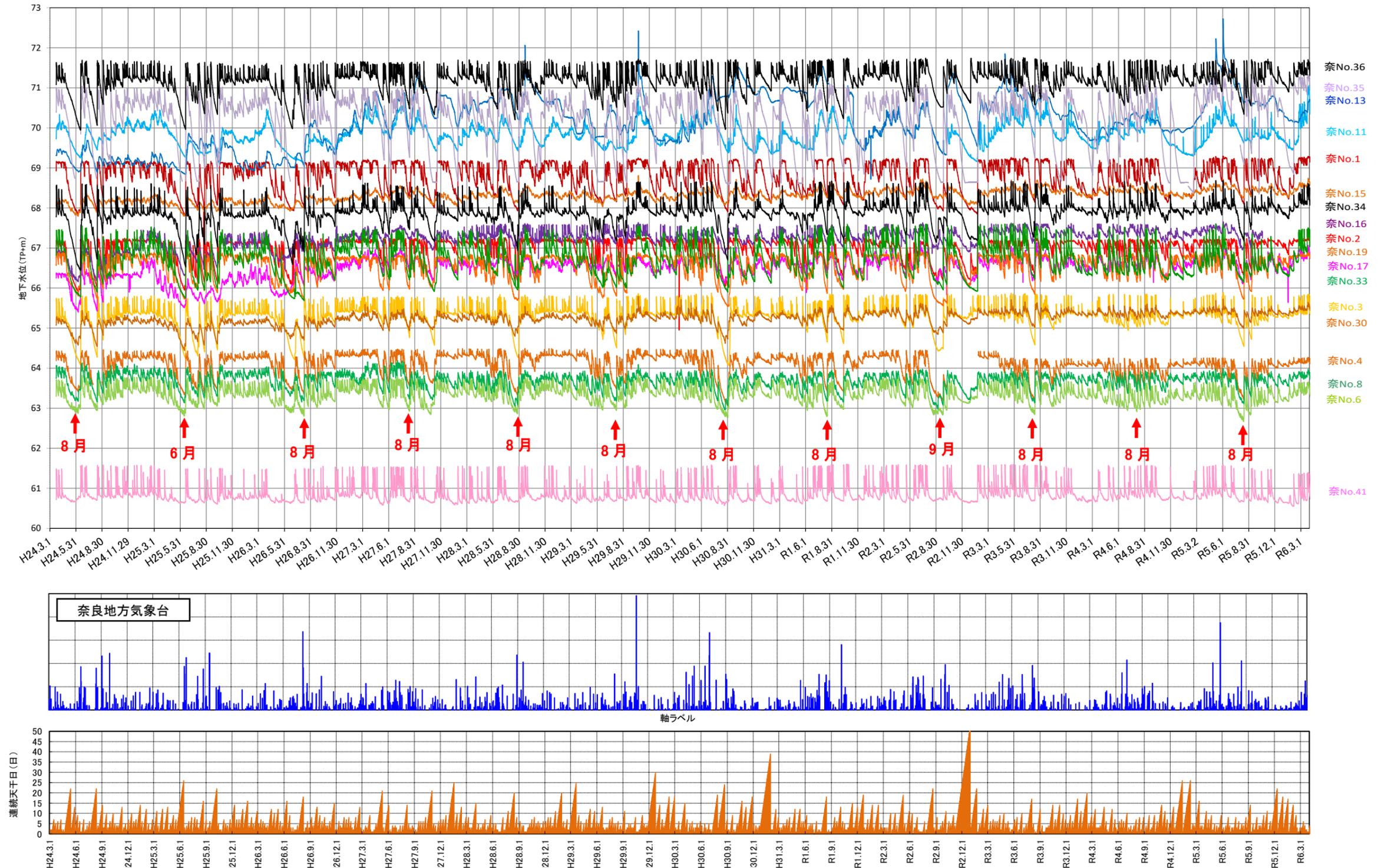
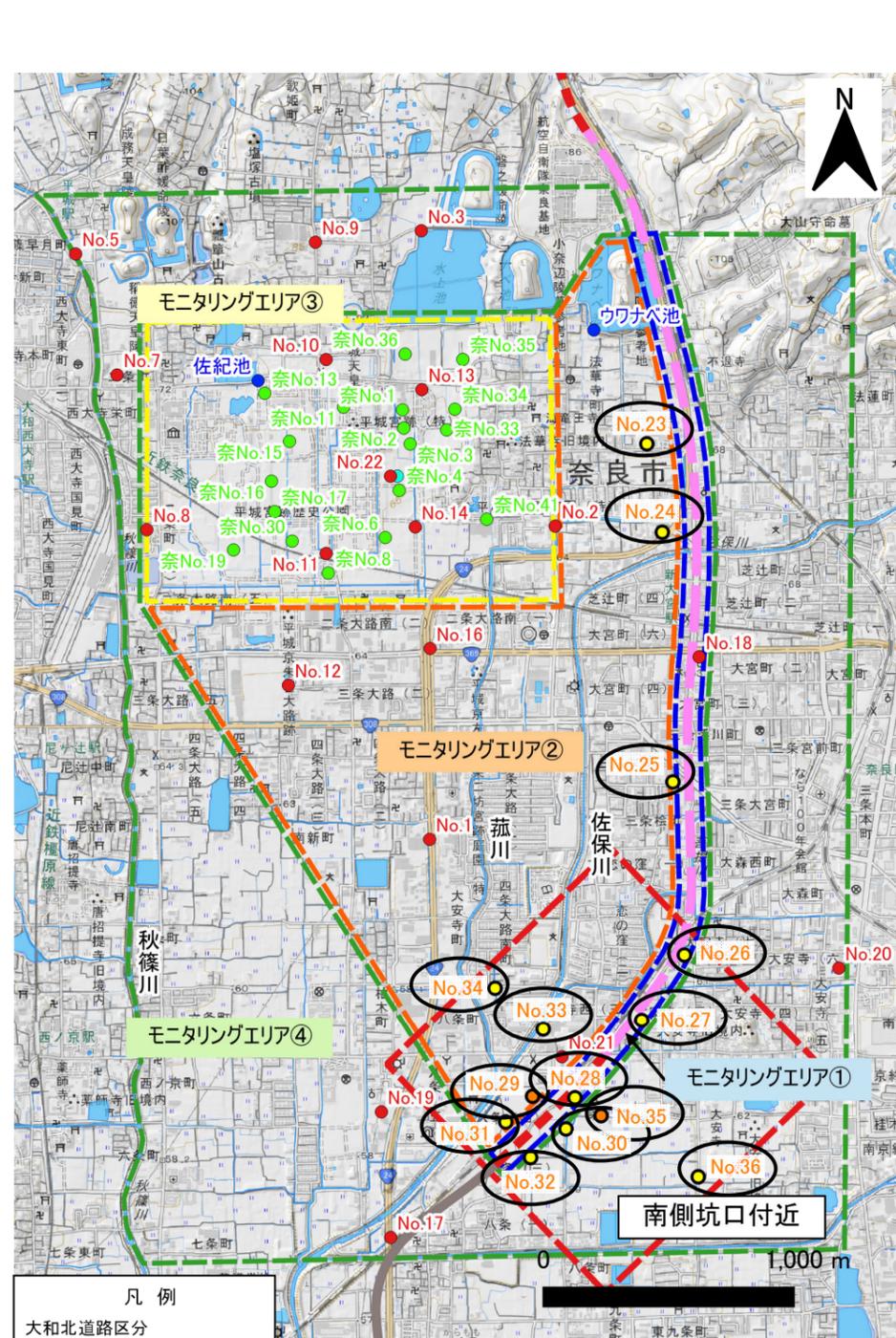


図-5 平城宮跡内の地下水位変動観測結果(第1帯水層)

6 追加観測孔(第1～第3帯水層) [令和4年4月～令和5年3月]

・トンネルルートおよび南側坑口付近の12箇所において追加観測孔を設置し、令和4年2月から観測を開始した。一部既存観測孔も活用しながら新たに14箇所の観測地点を追加した。



- 凡例
- 大和北道路区分
 - 地表・高架区間
 - トンネル区間
 - 開削区間
 - 地下水観測孔 ※1
 - 地下水観測孔 ※2
 - 土壌水分量観測箇所
 - 池水位観測箇所
 - 追加観測孔設置箇所
 - 追加観測孔(既存孔活用)

※1: 第6回委員会以前から観測
 ※2: 第6回委員会以降に追加観測

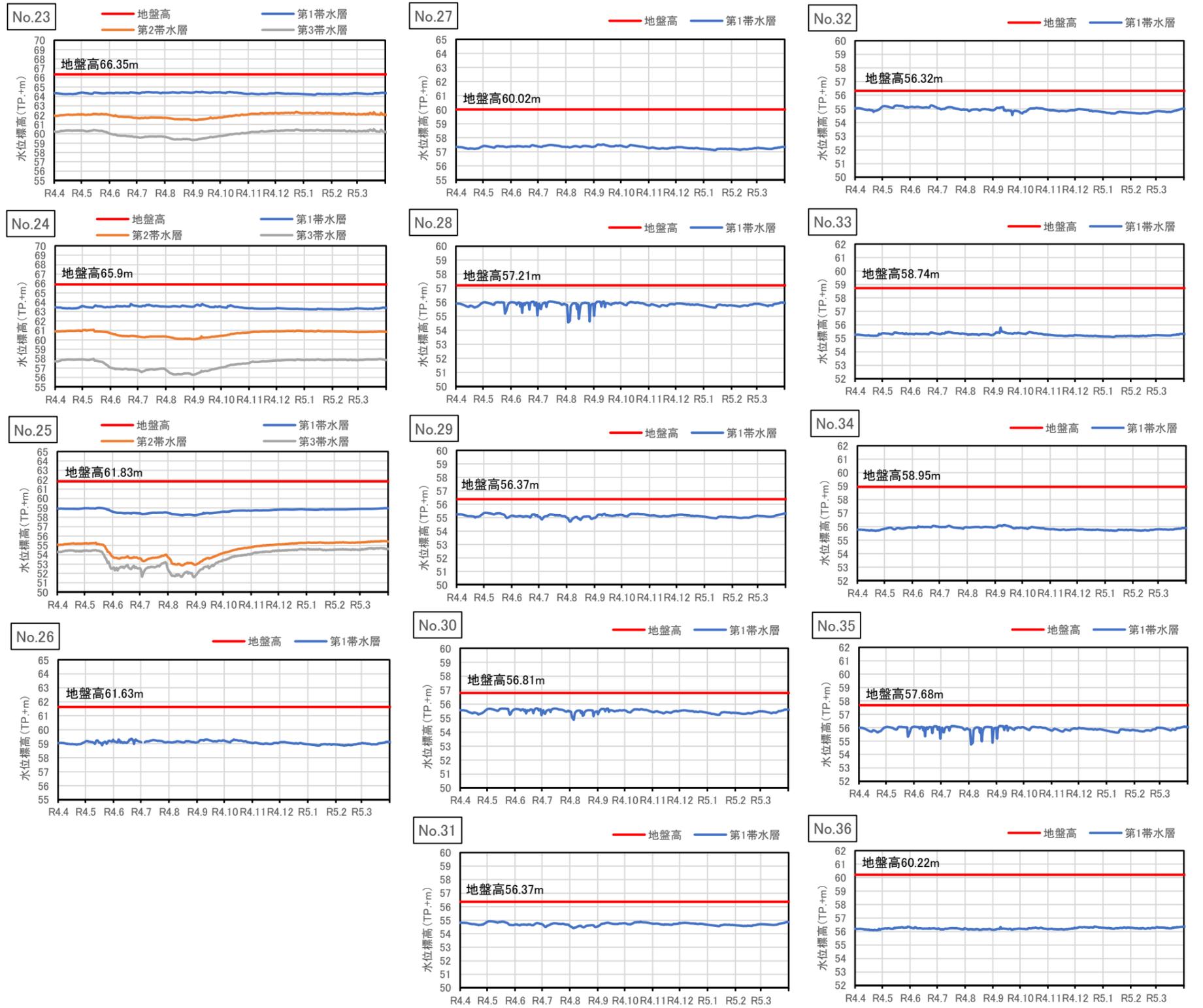


図-6 追加観測孔の地下水位変動観測結果 (第1～第3帯水層)